
令和 7 年度 事業報告書

社会福祉法人 清 風 会



SEIFUKAI GROUP

目次

法人本部	P1～8
------------	------

高齢者施設・保育園 月別利用状況	P9～10
------------------------	-------

【高齢者施設】

特別養護老人ホーム 洸寿園	P11～14
---------------------	--------

金隈老人保健施設 フラワーハウス博多	P15～18
--------------------------	--------

ケアハウス エスペランザ	P19～21
--------------------	--------

特別養護老人ホーム 東かなまち桜園	P22～24
-------------------------	--------

【保育園】

御幸保育園	P25～27
-------------	--------

日の里東保育園	P28～30
---------------	--------

五十川保育園	P31～34
--------------	--------

香住ヶ丘保育園	P35～37
---------------	--------

平等寺保育園	P38～40
--------------	--------

東かなまち保育園	P41～43
----------------	--------

大塚第一保育園	P44～46
---------------	--------

大塚第二保育園	P47～49
---------------	--------

はじめに（総括）

令和 7 年度は、少子高齢化の進行や人口構造の変化、物価高騰など、社会全体が複合的な課題に直面する一年となりました。エネルギー価格や食料品価格の高止まりは、国民生活に広く影響を及ぼすとともに、福祉事業の運営においても、光熱水費や食材料費の増加、人件費を含む運営コストの上昇という形で、大きな対応を迫る要因となっています。

こうした状況の中、当法人は「子どもと高齢者の今を支え豊かな未来を創る」という法人理念のもと、地域において必要とされる福祉サービスを安定的に提供し続けることを使命として、令和 7 年度の各事業運営に取り組んでまいりました。目の前の生活を支える支援の積み重ねこそが、将来にわたる安心と信頼につながるとの認識を共有し、日々の実践を重ねてきた一年であったと考えています。

高齢者事業においては、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、軽費老人ホームそれぞれの機能や役割を踏まえ、利用者一人ひとりの尊厳を大切にした支援に努めてきました。介護ニーズの重度化や医療的ケアへの対応、在宅復帰支援や看取りの場面など、求められる役割が多様化する中においても、職員間の連携を図りながら、安心して生活を継続できる環境づくりに取り組んできました。高齢者の「今」を丁寧に支えることが、地域全体の将来を支える基盤であるとの認識のもと、実践を積み重ねてきました。

一方、保育事業においては、共働き世帯の増加や家庭環境の多様化を背景に、保育所に対する社会的期待がより一層高まっています。当法人では、安全・安心な保育環境の確保を第一に、子ども一人ひとりの成長と主体性を尊重した保育を通じて、子どもの「今」を支える役割を果たしてきました。また、保護者や地域との連携を大切にしながら、子育てを支える拠点としての機能の充実に努めてきました。

その一方で、慢性的な人材不足や物価高騰による経営環境の厳しさは、今後も継続することが見込まれます。安定した事業運営とサービスの質の維持・向上を両立させていくためには、業務の効率化や職員の負担軽減、働きやすい職場環境の整備など、継続的な取り組みが不可欠です。

今後も当法人は、社会や制度の動向を的確に捉えつつ、子どもと高齢者それぞれの「今」に真摯に向き合い、その積み重ねを通じて、地域の豊かな未来づくりに貢献できる法人であり続けることを目指してまいります。

1. 事業概要

	施設名	施設種別	所在地
高齢者事業	特別養護老人ホーム 洸寿園	特養・短期入所	福岡市博多区
	金隈老人保健施設 フラワーハウス博多 フラワー介護プランサービス	老健・短期入所・通所リハ・訪問リハ 居宅介護支援	福岡市博多区
	ケアハウスエスペランザ	軽費老人ホーム	福岡市博多区
	特別養護老人ホーム 東かなまち桜園	特養・短期入所	東京都葛飾区
保育事業	御幸保育園	保育所・小規模保育・家庭的保育	福岡市東区
	日の里東保育園	保育所	宗像市
	五十川保育園	保育所・分園・小規模保育	福岡市博多区
	香住ヶ丘保育園	保育所・分園	福岡市東区
	平等寺保育園	保育所	宗像市
	東かなまち保育園	保育所	東京都葛飾区
	大塚第一保育園	保育所	福岡市西区
	大塚第二保育園	保育所	福岡市西区

2. 沿革

昭和 51 年 1 月 20 日	社会福祉法人認可
昭和 51 年 2 月 23 日	社会福祉法人登記
昭和 51 年 4 月 1 日	日の里東保育園 開設（宗像市）
昭和 51 年 5 月 1 日	御幸保育園 開設（福岡市東区）
昭和 53 年 4 月 1 日	五十川保育園 開設（福岡市博多区・旧北栄会）
昭和 53 年 5 月 22 日	特別養護老人ホーム洸寿園 開設（福岡市博多区）
昭和 55 年 4 月 1 日	香住ヶ丘保育園開設 （福岡市東区・旧藤栄会）
平成 2 年 10 月 24 日	介護老人保健施設フラワーハウス博多 開設
平成 8 年 4 月 26 日	ケアハウスエスペランザ 開設（福岡市博多区）
平成 12 年 2 月 1 日	博多南デイサービスセンター 開設（福岡市博多区）
平成 16 年 3 月 31 日	博多南デイサービスセンター 事業譲渡
平成 16 年 4 月 1 日	平等寺保育園 開設 （宗像市・旧藤栄会）
平成 21 年 4 月 1 日	福岡市より博多区第 4 地域包括支援センターの運営を受託
平成 24 年 10 月 1 日	社会福祉法人北栄会及び社会福祉法人藤栄会を吸収合併
平成 25 年 4 月 1 日	特別養護老人ホーム東かなまち桜園 開設 （東京都葛飾区）
平成 25 年 4 月 1 日	東かなまち保育園 開設（東京都葛飾区）
平成 27 年 3 月 31 日	博多第 4 地域包括支援センターの受託終了
平成 30 年 4 月 1 日	大塚第一保育園・大塚第二保育園 開設（福岡市西区）
平成 30 年 6 月 1 日	金の隈訪問介護ステーション 開設（福岡市博多区）
令和 4 年 12 月 31 日	金の隈訪問介護ステーション 事業廃止

3. 役員等

理 事	手嶋 常次（理事長） 喜多岡 陽子 江波戸 一敏 蓑原 栄一 佐野 正人 手嶋 洋
監 事	井 保則 坂田 圭介
評議員	上村 孝志 大橋 晋弘 末松 祐而 黒岩 尚昭 茶井 千恵子 小島 英二 土屋 敬三

4. 会議実績

1. 理事会			
回	開催日	出席	主な審議事項
1	R7.6.11	理事 5 名 監事 2 名	① 令和 6 年度事業報告(案)・決算報告(案)の承認について ② 規程等の変更について ③ 任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦について ④ 任期満了に伴う評議員の候補者の推薦について ⑤ 任期満了に伴う評議員選任・解任委員（外部委員）の選任について ⑥ 会計監査人の契約更新について ⑦ 評議員選任・解任委員会の招集について ⑧ 評議員会の招集について ⑨ 洗寿園 特殊浴槽更新について
2	R7.6.28	理事 6 名 監事 2 名	① 理事長の選定について
3	R7.11.5	理事 6 名 監事 1 名	① 洗寿園 非常用自家発電設備新設工事に係る入札実施承認の件について ② 香住ヶ丘保育園 保育室の使用変更承認の件について
4	R7.12.6	理事 6 名 監事 2 名	① 令和 7 年度中間決算報告について ② 第 1 次補正予算（案）決議について ③ 規程等の変更承認について ④ 外国人留学生の採用に伴う連帯債務の承認について ⑤ 香住ヶ丘保育園 基本財産追加と定款変更の承認及び園庭用地の売買代金の最終決済と所有権移転手続きの報告について ⑥ 香住ヶ丘保育園 園庭改修工事承認について ⑦ 評議員会の招集について
5	R8.3.18	理事 6 名 監事 2 名	① 令和 7 年度第 2 次補正予算（案）の承認の件 ② 令和 8 年度事業計画（案）、当初予算（案）の承認の件 ③ 規程の新設・変更の承認の件 ④ 評議員会の招集の件
2. 評議員選任・解任委員会			
回	開催日	出席	主な審議事項
1	R7.6.27	委員 5 名	① 任期満了に伴う評議員の選任について

3. 評議員会			
回	開催日	出席	主な審議事項
1	R7.6.28	評議員 6 名 監事 2 名	① 令和 6 年度事業報告(案)・決算報告(案)の承認について ② 任期満了に伴う理事・監事の選任について ③ 会計監査人の契約更新について
2	R7.12.6	評議員 5 名 監事 2 名	① 令和 7 年度中間決算報告について ② 第 1 次補正予算(案)の承認について ③ 香住ヶ丘保育園 園庭用地の基本財産追加及び定款変更承認について
3	R8.3.28	評議員 7 名 監事 2 名	① 令和 7 年度第 2 次補正予算(案)の承認について ② 令和 8 年度事業計画(案)、当初予算(案)の承認について

4. 経営会議			
回	開催日	出席	主な審議事項
1	R7.4.3	委員 15 名 書記 2 名	① 「介護人材確保・職場環境改善等事業」について ② 令和 7 年度法人主催研修（保育園部門）の開催について ③ 令和 6 年度決算スケジュールについて
2	R7.5.8	委員 15 名 書記 2 名	① 令和 6 年度決算報告（暫定）について ② 令和 6 年度採用実績と令和 7 年度の方向性について ③ 令和 6 年度東かなまち桜園 経営状況の報告について ④ 令和 6 年度エスペランザ 居室改修費の報告について
3	R7.5.29	委員 15 名 書記 2 名	① 令和 6 年度事業報告（案）及び決算報告書（案）について ② 規程の変更について ③ 理事会・評議員会の開催について
4	R7.7.3	委員 15 名 書記 2 名	① コピー機契約の見直しについて ② 福利厚生への検討について
5	R7.8.7	委員 15 名 書記 2 名	① 第 1 四半期の収支状況について ② コンプライアンスマニュアル、ルールブックの改訂について ③ 労働力の確保に繋がる今後の清風会の施策について ④ 高齢者施設交流会（ボウリング・親睦会）（案）について
6	R7.9.4	委員 15 名 書記 2 名	① 最低賃金の取り扱いについて ② 福利厚生制度について
7	R7.10.2	委員 15 名 書記 3 名	① 最低賃金の取り扱いについて ② 香住ヶ丘保育園 保育室の用途・クラス名の変更について ③ 会議体制他について
8	R7.11.6	委員 15 名 書記 3 名	① 令和 7 年度中間決算(暫定)について ② 第 1 次補正予算(案)について ③ 規程等の変更について ④ 福岡介護専門学校における外国人留学生の採用について ⑤ 委員会活動について ⑥ 理事会・評議員会の開催について

9	R7.11.27	委員 14 名 書記 3 名	① 令和 7 年度中間決算報告について ② 令和 8 年度事業計画及び当初予算の作成について ③ 令和 7 年度保育部門の採用状況と上半期入退職の状況について ④ 下期賞与支給額について
10	R8.1.8	委員 15 名 書記 3 名	① 令和 8 年度本部繰入金について
11	R8.2.5	委員 15 名 書記 3 名	① 令和 7 年度第 3 四半期の決算状況について ② 福利厚生制度の見直しについて ③ 社会保険促進手当に関する給与規程改定について ④ 事務用品（コピー用紙）購入見直しについて ⑤ 事業報告書様式統一について ⑥ 新人教育プログラム（高齢者部門）と入社式について ⑦ 令和 8 年度園児募集状況について
12	R8.3.5	委員 15 名 書記 3 名	① 令和 7 年度第 2 次補正予算(案)について ② 令和 8 年度 事業計画(案)、当初予算(案)について ③ 福岡県内高齢者施設従事職員の資格手当の拡充について ④ 保育事業における処遇改善等加算一本化への対応について ⑤ 規程等の変更について ⑥ 新人教育指導指針（保育）について ⑦ 介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業への対応について ⑧ 令和 8 年度委員会活動について ⑨ 理事会・評議員会の開催について

5. 監査実績

(1) 監事監査

①定期監査

実施日及び 実施施設	【令和 7 年 10 月 14 日】 ・ 御幸保育園・日の里東保育園・大塚第一保育園・大塚第二保育園 ・ 平等寺保育園・五十川保育園 【令和 7 年 10 月 15 日】 ・ 香住ヶ丘保育園・東かなまち保育園・洸寿園・フラワーハウス ・ エスペランザ・東かなまち桜園・本部
出席監事	井保則 坂田圭介
立会役職員	施設長・事務長・事務担当者・本部職員
監査内容	(1)法人運営全般及び役員等の職務実施状況 (2)各拠点の運営管理 (3)人事・労務・給与・会計管理 (4)安全管理状況

	(4)安全管理状況
監査結果	・各拠点とも問題なく業務が行われ会計処理等も適切である。 ただし、勤怠管理について、記録上の終業時刻よりも打刻時刻が相当遅い日が複数確認された。勤怠システムの運用については、法人全体で、実際の勤怠状況を調べ統一的な運用ルールや確認体制を検討することが望まれる。

②決算監査

実施日	令和 8 年 5 月 20 日・21 日
出席監事	井保則 坂田圭介
立会役職員	本部職員

(2) 会計監査人監査

①定期ヒアリング

実施日及び実施期間	【令和 7 年 9 月 9 日】・日の里東・平等寺・大塚第一・大塚第二保育園 【令和 7 年 9 月 10 日】五十川・御幸・香住ヶ丘保育園 【令和 7 年 11 月 11 日】洗寿園・フラワーハウス 【令和 7 年 11 月 12 日】エスペランザ 【令和 7 年 11 月 19 日】東かなまち桜園・東かなまち保育園
内容	(1)公印管理 (2)日常業務 (3)その他
立会役職員	施設長・事務長・事務担当者・本部職員
監査結果	公印管理の重要性を周知し、公印管理規程の遵守を徹底する必要がある。

② 期末監査

実施日	令和 8 年 4 月 30 日～5 月 8 日
立会役職員	本部職員

(3) 指導監査

①東かなまち保育園

実施日	令和 7 年 10 月 16 日
(B 項目以上又は文書指導以上)	特になし

②五十川保育園

実施日	令和 7 年 12 月 1 日、14 日
(B 項目以上又は文書指導以上)	・重要事項説明書に、保護者徴収金は正確に記載してください。

③御幸保育園

実施日	令和 7 年 12 月 2 日、5 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	・入園のしおりに、保護者徴収金は正確に記載してください。 ・歯科検診の検査結果を記録してください。(小規模) ・消火、避難訓練は、毎月 1 回行ってください。(小規模)

④大塚第一保育園

実施日	令和 7 年 12 月 2 日、9 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	・重要事項説明書に、保護者徴収金は正確に記載してください。 ・小口現金出納帳は、漏れなく正確に記載してください。

⑤香住ヶ丘保育園

実施日	令和 7 年 12 月 1 日、12 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	特になし

⑥ 平等寺保育園

実施日	令和 7 年 9 月 12 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	特になし

⑦ 日の里東保育園

実施日	令和 7 年 11 月 6 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	・令和 6 年度の保健計画が策定されていませんでした。子どもの健康に関する保健計画を全体的な計画に基づいて作成し、全職員がそのねらいや内容を踏まえ、一人一人の子供の健康の保持及び増進に努めてください。 ・施設整備（遊具等）の安全点検について、月に 1 回の実施となっていました。少なくとも週に 1 回以上点検し記録に残してください。 ・7 月の消火訓練と 11 月の火災訓練の実施が確認できませんでした。これらの避難訓練は、毎月 1 回は実施しなければなりません。有事の際の安全に関わる事項であり、必ず改善をしてください。

⑧ 東かなまち桜園

実施日	令和 7 年 6 月 3 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	特になし

⑨ エスペランザ

実施日	令和 7 年 10 月 7 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	入居者に対するサービス提供に関する記録については、完結の日から 5 年間保存するように、指針を見直してください。

⑩ その他（書面監査）

拠点名	指摘事項
大塚第二保育園	指摘事項なし

6. 重点実施項目の取り組みと成果

(1)財務基盤の安定及び本部機能の再編

令和 7 年度は、物価高騰等の影響を見据え、法人として安定的な事業運営を継続するため、財務基盤の強化及び本部機能の強化に取り組んだ。

このうち、経費削減及び支出構造の見直しの一環として、コピー機の契約内容の精査を行い、リース料及びカウンタ料の見直しを実施した。その結果、月額費用の削減が図られ、継続的な経費の抑制につながっている。また、資金積立については、年度途中における実行を見送ったが、決算期における財務状況を精査した上で、今後の社会福祉事業への計画的な再投資を見据えた積立の実施を検討することとしている。これらの取り組みにより、単年度の支出削減にとどまらず、中長期的な財務の安定化に向けた基盤整備を進めることができた。

(2)経理・労務管理部門の体制強化

経営判断の根幹となる財務管理及び労務管理体制の強化を目的として、令和 7 年度は法人本部の体制見直しを行い、新たに職員 1 名を増員した。あわせて、労務管理の効率化及び業務の属人化防止を図るため、クラウド人事労務ソフト SmartHR を中心とした労務管理体制の整備を進め、各種手続きや情報管理の効率化に努めた。これにより、日常的な事務処理の負担軽減に加え、制度運用の統一性および正確性の向上が図られている。これらの体制の強化により、法人本部として、より迅速かつ適正な管理運営を行うための基盤整備が進んだ。

(3)人材育成

人材育成については、将来の法人運営を担う中核人材の育成を目的として、保育事業におけるリーダークラス職員を対象に、コアスタッフの育成を意識した研修を実施した。本研修では、現在運営の必要な基本的な考え方や役割意識の共有を重視し、組織全体の底上げおよびリーダー層の意識向上を図った。これにより、職員間の意識連携や役割理解の深化に繋がり、今後の保育事業運営における人材基盤の強化が期待される。

社会福祉法人清風会 高齢者施設・事業所 月別利用状況

令和7年度

施設名	施設種別	定員		利用状況												合計・平均
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
光寿園	特養 (短期含)	100	末日在籍	89	91	94	96	92	96	94	97	93	96	96	98	94.3
			月間延数	2,618	2,784	2,770	2,911	2,871	2,885	2,969	2,833	2,939	2,907	2,729	2,930	34,146
			日平均	87.3	89.8	92.3	93.9	92.6	96.2	95.8	94.4	94.8	93.8	97.5	94.5	93.6
			利用率	87.3%	89.8%	92.3%	93.9%	92.6%	96.2%	95.8%	94.4%	94.8%	93.8%	97.5%	94.5%	93.6%
東かなまち 校園	特養	140	末日在籍	137	137	139	136	138	139	136	136	135	131	128	133	135.4
			月間延数	3,905	3,985	3,957	4,115	4,085	3,881	3,978	3,836	3,999	3,956	3,526	3,887	47,110
			日平均	130.2	128.5	131.9	132.7	131.8	129.4	128.3	127.9	129.0	127.6	125.9	125.4	129.1
			利用率	93.0%	91.8%	94.2%	94.8%	94.1%	92.4%	91.7%	91.3%	92.1%	91.2%	89.9%	89.6%	92.2%
	特養 (短期)	20	末日在籍	14	18	14	13	15	18	20	17	16	16	20	10	15.9
			月間延数	530	527	522	546	522	513	540	492	498	508	480	591	6,269
			日平均	17.7	17.0	17.4	17.6	16.8	17.1	17.4	16.4	16.1	16.4	17.1	19.1	17.2
			利用率	88.3%	85.0%	87.0%	88.1%	84.2%	85.5%	87.1%	82.0%	80.3%	81.9%	85.7%	95.3%	85.9%
フワアハク博多	老健 (短期含)	138	末日在籍	126	121	115	117	119	119	117	128	122	125	121	124	121.2
			月間延数	3,629	3,787	3,581	3,587	3,707	3,562	3,687	3,539	3,854	3,841	3,452	3,743	43,969
			日平均	121.0	122.2	119.4	115.7	119.6	118.7	118.9	118.0	124.3	123.9	123.3	120.7	120.5
			利用率	87.7%	88.5%	86.5%	83.8%	86.7%	86.0%	86.2%	85.5%	90.1%	89.8%	89.3%	87.5%	87.3%
	通所/ハ	20	月間延数	293	270	266	296	285	323	304	301	338	299	293	339	3607.0
			日平均	11.3	10.0	10.6	11.0	11.0	12.4	11.3	12	13	12.5	12.2	13	11.7
			利用率	56.5%	50.0%	53.2%	55.0%	55.0%	62.1%	56.3%	60.2%	65.0%	62.3%	61.0%	65.2%	58.5%
			利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3
	訪問/ハ	-	訪問回数	12	12	12	14	12	12	14	12	8	2	2	2	114
			件数	63	57	60	60	64	69	68	65	65	61	61	64	63
			末日在籍	138	137	138	141	144	142	141	142	141	142	139	140	140.4
			利用率	92.0%	91.3%	92.0%	94.0%	96.0%	94.7%	94.0%	94.7%	94.0%	94.7%	92.7%	93.3%	93.6%
エス・ランザ	軽費	150														

社会福祉法人清風会 保育園 月別利用状況

令和7年度

施設名	区分	定員		利用状況												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
御幸	保育園	300	月初在籍	305	304	305	305	303	305	304	302	303	304	303	304	303.9
			利用率	101.7%	101.3%	101.7%	101.7%	101.0%	101.7%	101.3%	100.7%	101.0%	101.3%	101.0%	101.3%	101.3%
	小規模 家庭的	15	月初在籍	10	10	10	10	12	12	12	12	11	12	13	13	11.4
			利用率	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	73.3%	80.0%	86.7%	86.7%	76.1%
五十川	保育園 (分園含)	309	月初在籍	310	311	311	311	312	311	312	312	312	312	312	312	311.5
			利用率	100.3%	100.6%	100.6%	100.6%	101.0%	100.6%	101.0%	101.0%	101.0%	101.0%	101.0%	101.0%	100.8%
	小規模	27	月初在籍	17	18	18	18	24	24	24	24	24	24	23	23	21.8
			利用率	63.0%	66.7%	66.7%	66.7%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	85.2%	85.2%	80.6%
香住ヶ丘	保育園 (分園含)	324	月初在籍	289	293	295	301	303	303	303	303	304	310	312	312	302.3
			利用率	89.2%	90.4%	91.0%	92.9%	93.5%	93.5%	93.5%	93.5%	93.8%	95.7%	96.3%	96.3%	93.3%
大塚第一	保育園	130	月初在籍	113	113	113	119	122	123	123	121	119	119	121	121	118.9
			利用率	86.9%	86.9%	86.9%	91.5%	93.8%	94.6%	94.6%	93.1%	91.5%	91.5%	93.1%	93.1%	91.5%
大塚第二	保育園	130	月初在籍	107	108	110	115	116	116	116	116	111	113	114	114	113.0
			利用率	82.3%	83.1%	84.6%	88.5%	89.2%	89.2%	89.2%	89.2%	85.4%	86.9%	87.7%	87.7%	86.9%
日の里東	保育園	160	月初在籍	150	153	155	156	156	157	157	157	159	159	159	159	156.4
			利用率	93.8%	95.6%	96.9%	97.5%	97.5%	98.1%	98.1%	98.1%	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%	97.8%
平等寺	保育園	200	月初在籍	155	155	158	159	159	159	162	162	163	162	162	162	159.8
			利用率	77.5%	77.5%	79.0%	79.5%	79.5%	79.5%	81.0%	81.0%	81.5%	81.0%	81.0%	81.0%	79.9%
東かなまち	保育園	130	月初在籍	129	129	130	130	130	130	130	130	130	130	129	129	129.7
			利用率	99.2%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%	99.2%	99.7%
合計		1,725	月初在籍	1,585	1,594	1,605	1,624	1,637	1,640	1,643	1,639	1,636	1,645	1,648	1,649	1,628.8
			利用率	91.9%	92.4%	93.0%	94.1%	94.9%	95.1%	95.2%	95.0%	94.8%	95.4%	95.5%	95.6%	94.4%

特別養護老人ホーム 洸寿園

(1)施設利用状況

事業名	介護老人福祉施設
定員	100 人
稼働日数	365 日
利用者延人数	34,146 人
1 日平均利用者数	93.55 人
実稼働率	93.55%
(前年度稼働率)	(93.90%)
平均介護度	3.9

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員（常勤換算）

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
施設長	1		1	介護職員	3.2	+1.1	4.3
介護支援専門員	1		1	看護職員	0.3	+1.0	1.3
生活相談員	2		2	歯科衛生士		+0.4	0.4
介護職員	31	-2	29	管理栄養士		+1.0	1.0
看護職員	5		5	介護事務	1.0		1.0
機能訓練指導員	1		1	洗濯	1.0	+0.2	1.2
歯科衛生士							
管理栄養士	2	-1	1				
事務員	4	-1	3				
嘱託医師	2		2				
合 計	49	-4	45	合 計	5.5	+3.7	9.2

(3)令和 7 年度の重点項目とその実績

①利用者確保

令和 7 年度初頭は、前年度末から 4 月にかけての施設内における新型コロナウイルス感染症の流行により、新規入所案内を一時停止せざるを得ない厳しい状況でのスタートとなりました。この状況を打開すべく、令和 7 年 10 月にはホームページを全面的に刷新いたしました。視認性の向上に加え、新たに施設紹介動画を導入したことで、入所を検討されている方やご家族に対し、当施設の特色や魅力をより具体的に発信しております。加えて、これまでの近隣病院や老健施設、有料老人ホーム等に対する営業活動を強化しつつ、外部サイト「みんなの介護」との連携を開始し、施設の認知度向上と集客チャネルの拡大を図っております。多角的な広報戦略を通じて、新規利用者の獲得に引き続き注力してまいります。

②業務継続に向けた取り組み

大規模災害および感染症流行に備えた業務継続計画（BCP）の策定・運用については、防災委員会および感染症委員会が中心となり、組織的な強化を図っております。令和7年度は、福岡市の「高齢者施設の災害対策支援業務」を活用し、隣接するフラワーハウス博多へ派遣された防災専門家によるBCP支援研修を当施設においても受講いたしました。専門的な知見を取り入れることで計画の実効性を高め、今後も社会情勢や研修成果を反映した継続的な見直しを行ってまいります。

③LIFE 関連加算の取得およびフィードバックの有効活用

利用者フィードバックを基に、介護支援専門員や生活支援員等の多職種が連携し、個々のニーズに即したケアプランの最適化およびサービス品質の改善を継続的に実施しております。蓄積されたデータを科学的根拠に基づく介護（科学的介護）へ繋げ、LIFE 関連加算の新規取得を目指します。客観的指標に基づく PDCA サイクルを確立し、さらなる安心・安全なサービス提供体制を構築してまいります。

④歯科衛生士の新規配置

令和7年6月より歯科衛生士を1名新規採用し、施設内における口腔衛生管理体制を大幅に強化いたしました。入所者一人ひとりの口腔環境に応じた専門的口腔清掃や口腔機能訓練を定期的を実施するだけでなく、介護職員に対して実技を交えた口腔ケア指導を行うことで、施設全体のケアスキルの底上げを図っております。これらの多職種連携による多角的なアプローチの結果、口腔内環境の劇的な改善が見られ、誤嚥性肺炎を起因とする体調不良や外部医療機関への入院者数の減少に直結しています。口腔の健康維持を通じて、入所者のQOL（生活の質）向上と、施設内での安全な生活継続に大きく寄与する成果を上げています。

⑤感染症への対応

令和7年3月・4月の新型コロナウイルス感染症集団罹患を受け、当施設では感染症対策委員会主導のもと、実体験に基づいたマニュアルの抜本的な見直しを実施いたしました。今回の改訂では、有事の際にも職員が迷わず迅速に行動できるよう、チェックリストの導入や視認性の高いレイアウトを採用し、実用性を大幅に向上させています。さらに、現場の声を反映した実効性のある手順へと再編することで、組織全体のリスク管理能力の強化を図りました。変容する感染症リスクに対し、今後も最新の知見を取り入れた適宜の見直しを継続し、利用者および職員がともに安心できる、強固な感染防止体制の構築に努めてまいります。

⑥電力会社の見直し

新電力会社への契約切り替えにより、電気料金を前年比▲100万円程度と大幅に削減いたしました。今後は電力に限らず、全項目において継続的な見直しを行い、更なる経費削減に努めてまいります。

(4)年間行事実施実績

実施時期	行事内容	行事食(昼食)
4月	桜のお花見	春の行楽弁当
5月	菖蒲湯(3回)	母の日ランチ
6月	バスハイク(2回)	父の日ランチ
7月	—	七夕膳
8月	園内外食(居酒屋風お取り寄せ)	夏祭り膳

9 月	敬老会	敬老お祝い膳
10 月	燈明花火祭り	秋の行楽弁当
11 月	おやつバイキング	寿司バイキング
12 月	クリスマス会/柚子湯	クリスマス膳
1 月	鏡開き(ぜんざい会)	正月おせち料理
2 月	節分会	節分膳
3 月	バスハイク(2回、雨天中止)	寿司バイキング

※ 上記以外にお誕生月の方を対象とした園内カフェ「陽だまりカフェ」を毎月開催

(5)職員の研修実績

- ・ 倫理及び法令遵守研修：参加 52 名
- ・ 虐待防止研修：参加 52 名
- ・ 基本接遇研修：参加 52 名
- ・ 事故発生又は再発防止研修：参加 52 名
- ・ 認知症及び認知症ケア研修：参加 53 名
- ・ 身体拘束の排除の為の取り組み研修：参加 54 名
- ・ 医療的理解研修：参加 54 名
- ・ ハラスメントの理解研修：参加 54 名
- ・ 感染症食中毒の予防及び蔓延防止研修：55 名
- ・ 介護予防及び要介護度進行予防研修：55 名
- ・ プライバシーの保護の取り組み研修：52 名
- ・ 精神的ケアに関する研修：51 名
- ・ 緊急時の対応に関する研修：52 名
- ・ 非常災害対策研修：49 名
- ・ ターミナルケア研修：50 名

研修の結果、サービスの安全性向上や職員の知識向上が図られた。

(6)施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

区 分	整備内容	金額等
施設整備	居室壁クロス修繕(2階居室8室貼替)	205,700 円
設備整備	特殊浴槽(株式会社アマノ製特殊浴槽および周辺装置等一式)	4,730,000 円
	ほのぼの Voice(介護支援ソフトおよび通信機器等一式)※注	2,470,634 円
	エアコン(2階天井埋込型1台)	443,300 円

※注：福岡県介護 DX 支援事業費補助金 1,852,000 円受領

(7)苦情等の申出内容とその結果

特になし

(8)総括

令和 7 年度は、稼働率 97%という高い目標を掲げましたが、令和 6 年度末からの施設内における新型コロナウイルス感染症の流行により、4 月から 5 月にかけての稼働率が前年度比で 8 ポイント以上大幅に減少する事態となりました。しかし、以降は生活相談員を中心とした新規入所者の獲得に尽力した結果、6 月からは徐々に回復し、通期では前年比マイナス 0.35 ポイントまで挽回いたしました。設備計画においては、非常用自家発電機新設工事が令和 8 年度に繰り越しとなりましたが、常時使用していた特殊浴槽の故障に伴い、自己資金による多額の設備投資を急遽実施いたしました。業務効率化につきましては、10 月に「生産性向上委員会」を立ち上げ、介護現場の課題抽出・分析を行っております。利用者の安全とサービス質の確保、および職員の負担軽減に資する方策を検討・推進するとともに、処遇改善や職場環境の整備を通じて、介護人材不足への対応と一層のサービス向上に努めてまいります。

フラワーハウス博多

(1)施設利用状況

事業名	老人保健施設	通所リハビリ
定員	138 名	20 名
稼働日数	365 日	309 日
利用者延人数	43,971 名	3,607 名
1 日平均利用者数	120.5 名	11.7 名
実稼働率	87.3%	58.5%
(前年度稼働率)	90.1%	50.9%
平均介護度	3.03	
平均在宅復帰率	52.2%	

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員（常勤換算）

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
施設長	1	0	1				
				医師	0.4	0	0.4
				事務相談役	0.2	0	0.2
介護支援専門員	2	0	2				
生活相談員	4	-1	3				
居宅介護支援専門員	2	0	2				
介護職員	43	+2	45	介護職員	3.2	+0.7	3.9
看護職員	15	-3	12	看護職員	0.7	+0.8	1.5
リハビリ職員	12	-1	11	リハビリ職員			
歯科衛生士	0	+1	1	歯科衛生士	0.9	-0.9	0
管理栄養士	2	0	2	管理栄養士	0.9	0	0.9
事務員	6	-2	4				
嘱託医師				薬剤師	0.5	+0.6	1.1
合 計	87	-4	83	合 計	6.8	+1.2	8.0

(3)令和7年度の重点項目とその実績評価

経営の安定化：目標と実績評価

- ・入所（目標：127名／実績：118.3名／前年度比：-4.5名）
 - ・評価：上半期は順調に推移したが、6月以降の紹介数減少と施設内感染症の影響で低迷。
 - ・改善策：営業対象を居宅介護支援事業所へシフトしたことで12月頃より数値回復の兆しが見えた。今後もこの営業戦略を継続し、早期の目標達成を図る。
- ・短期入所（目標：3.0名／実績：2.1名／前年度比：+0.6名）
 - ・評価：居宅介護支援事業所への積極的な営業と「断らない体制」が信頼に繋がり、前年度比プラスとなった。
- ・通所リハ（目標：16.0名／実績：11.7名／前年度比：+1.5名）
 - ・評価：目標には届かなかったが、同一法人内ケアハウスエスペランザの利用者増と職員増員により、前年度比プラスとなった。
- ・訪問リハ（目標10名／実績：10.0名／前年度比：-2.5名）
 - ・評価：新規利用者の獲得に苦戦して結果が出なかった。
- ・居宅介護支援（目標：65名／実績：65.1名／前年比：+0.6名）
 - ・評価：外部利用者の新規獲得が課題。施設内各サービスへのつなぎ込みは継続する。

・各部門の稼働・利用状況・全体

全体として短期入所・通所リハ・居宅は前年度比プラスで推移したものの、入所・訪問においては前年度比マイナスとなり、厳しい結果となった。

また、業務効率化を目的とした「ペースノート」は運用が定着せず、解約に至った。次年度は今回の反省を生かし、状況に合わせてツールの選定を再検討していく。

・施設類型「超強化型」算定の維持

支援相談員の欠員という課題はあったが、他部門からの柔軟なヘルプ体制により「超強化型」指標数値に影響することなく1年間類型を維持することができた。

その他の専門職（ケアマネ・看護・介護・リハ）については概ね適正な配置を完遂することができた。

・サービス単価の向上

「協力医療機関連携加算」の取得を完遂し、入所者単価15,000円超を獲得することができた。

職員処遇改善：目標と実績

・福利厚生・ワークライフバランス

年次有給休暇の取得数が前年比で増加、男性職員2名育児休業を取得できた。次年度以降も個々の職員の実情に合わせた働き方によって活躍できる環境を整えていく。

・職場環境の改善と ICT 活用

音声による記録入力ほのぼのボイスを導入、導入目的であった職員の負担軽減及び専門職が本来の業務に集中できる環境を整えていく。

・キャリアアップ支援・教育

今年度介護福祉士国家試験に2名合格、老健大会での演題発表や各種外部研修へ積極的に参加できた。また、数年前から開始されている法人本部主催の研修に参加したリーダー層を中心に、学びをチーム運営に還元する文化が芽生えつつある。

今後はこの「共通言語」を持つスタッフを増やし、組織力の底上げを図っていきたい。

(4)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4 月	花見（ディ）・ドライブ（ディ）
5 月	茶話会
6 月	おやつレク
7 月	七夕会
8 月	夏祭・消防訓練
9 月	敬老会
10 月	秋祭り・ドライブ（ディ）
11 月	秋祭り
12 月	忘年会・クリスマス会
1 月	新年会
2 月	節分会
3 月	ひな祭り・消防訓練

(5)職員の研修実績

- ・虐待防止研修：参加 88 名
- ・身体拘束廃止研修：参加 87 名
- ・感染症対策研修：参加 83 名
- ・認知症ケア研修：参加 89 名
- ・事故防止研修：参加 85 名
- ・救命救急研修：参加 17 名
- ・個人情報保護研修：参加 81 名
- ・新任職員研修：年間 11 名が受講

研修の結果、サービスの安全性向上や職員の知識向上が図られた

(6)施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

区 分	整備内容	金額等
施設整備	重油送油管補修工事	1,034,000 円
設備整備	食器（煮物碗 125 セット・汁碗 125 セット）	840,000 円
	車椅子・歩行車	975,500 円
	ガス立体炊飯器 1 台	435,600 円
	ガステーブル 1 台	217,800 円
	ほのぼの Voice 導入	1,810,624 円

※3 階～6 階トイレ環境改善工事は当初計画していたが、8 年度に繰り越し。ポジショニングクッション、ペースノート、タブレットは見直しにより不要と判断した。

(7)苦情等の申出内容とその結果

特になし

(8)総括

令和 7 年度の経営状況につきまして、当期資金収支差額は 25,902 千円となり、資金面では概ね安定した運営を行うことができました。

稼働面では、近隣競合施設の増加や施設内でのコロナ禍対応により、平均入所者数が前年度を下回る 120.5 名（前年度比-3.9 名）となりましたが、下半期には相談員による地域包括・居宅事業所への営業を強化したことで、着実に回復へと繋げております。

運営面では「超強化型」を年間通して維持し、各種加算を適切に算定することで、サービス単価 15,000 円以上の高水準を確保いたしました。また、新たに導入した「ほのぼのボイス」を活用し、さらなる職員の負担軽減と職場環境の改善を図ってまいります。

令和 8 年度に向けては、入所 123 名、ショートステイ 3 名、デイケア 13 名、訪問リハビリ 6.3 名、居宅 65 名をはじめとする各事業目標の達成に邁進いたします。「超強化型」の維持と増収への努力を継続しつつ、地域貢献活動にも積極的に取り組むことで、地域に深く根ざした施設づくりを目指します。なお、職員休憩室、トイレ環境改善、リハビリスペースの拡張といったリフォーム計画につきましても、優先順位を精査した上で計画的に予算化を進めていく所存です。

ケアハウスエスペランザ

(1)施設利用状況

事業名	軽費老人ホーム
定員	150
稼働日数	365
利用者延人数	51,535
実稼働率	94.1%
(前年度稼働率)	94.5%
平均介護度	0.47

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員（常勤換算）

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
施設長	1		1				
事務員	1		1				
生活相談員	2		2				
介護職員	4		4	介護職員	1.1	+0.5	1.6
栄養士	1		1				
合 計	9		9	合 計	1.1	0.5	1.6

(3)令和7年度の重点項目とその実績

①入居率の維持・向上

令和5年度より行っている居室フローリング改装や居室内設備の入替を進めることで、居室環境をより良くし、入居率向上につなげる。

⇒約4割改装が進んでおり、予定通りとなる。

②行事の実施

昨年度は施設内の感染状況により行事を縮小もしくは中止することが多かったため、感染症対策を徹底しながらも行事の時期に感染症等が発生した場合に予備日を設けるなど対策を講じることで、生活上の楽しみの機会を提供する。

⇒行事の中止は、レクリエーション以外は実施することができた。

③コスト意識の向上

物価上昇が続く中、支出コントロールが重要となるため、定期的な支出や業者の選定等、職員や入居者の負担にならない範囲で見直しを行う。

⇒入居者処遇に関わる内容は迅速に行い、その他の内容であれば、支出を抑え対応することができ

た。

(4)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4 月	施設誕生祭、季刊紙発行、買物送迎、花見
5 月	レクリエーション、買物送迎
6 月	レクリエーション、買物送迎
7 月	季刊紙発行、買物送迎
8 月	納涼会 入居者懇談会
9 月	秋祭り 入居者健康診断 防災訓練
10 月	季刊紙発行、レクリエーション、買物送迎
11 月	文化の日展示会
12 月	忘年会、ミニクリスマスショー、ピアノ演奏、フルート演奏
1 月	正月行事、季刊紙発行、レクリエーション、買物送迎
2 月	入居者懇談会
3 月	レクリエーション

(5)職員の研修実績

- ・虐待防止研修：参加 9 名
- ・身体拘束廃止研修：参加 9 名
- ・感染症対策研修：参加 9 名
- ・認知症ケア研修：参加 9 名
- ・事故防止研修：参加 9 名
- ・救命救急研修：参加 8 名
- ・個人情報保護研修：参加 9 名
- ・新任職員研修：年間 0 名が受講

研修の結果、サービスの安全性向上や職員の知識向上が図られた。

(6)施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

区 分	整備内容	金額等
施設整備	居室用エアコン	3,484,800 円
	居室用換気扇	1,617,000 円
	6F 集会室扉	350,000 円
設備整備	事務所 PC	1,636,764 円
	防犯カメラ	646,640 円
	厨房冷凍庫	397,430 円

(7)苦情等の申出内容とその結果

申出年月	申出者の種類	申出内容	解決結果
令和7年10月	入居者	女性大浴室の壁や天井の汚染改善	清掃業者対応で対応済み

※その他入居者間のトラブルが4件あったが注意喚起で解決している。

(8)総括

【利用者の今後の見通しと対策】

新型コロナウイルス感染症が流行し、エスペランザもその影響を受けた。エスペランザで感染者も複数名発症し、感染対策のため、居室配膳の実施、定期的な全館消毒及び換気作業を行う。レクリエーションの時期に重なることで、入居者には感染対策の協力を求め、終息に尽力した。

面会は徐々に制限を緩和し、家族と接する時間を増やしている。介護保険の認定割合や転倒事故は減少しているが、感染症が増加したため、状況に応じて感染予防・対策を行いつつ、面会緩和や行事を実施している。フローリング改装も約4割が終了したことや問い合わせが増えている状況であるため、入居率のさらなる向上を目指していきたい。

【職員状況の見通しと対策】

令和7年度は、年度途中で非常勤職員1名が加わり12名（正9非4）にての対応となっている。配置基準は満たしているものの、採用・研修委員会で導き出した独自の配置基準に若干足りない状況である。体調不良等により1名でも欠くと一人ひとりの負担が大きくなるため独自の配置基準を満たし余裕のある運営ができるよう採用活動を行っていく。夜間委託の警備員を含め、緊急時の対応など迅速に行うことができるようチームとしての意識を持ち支援にあたっていく。

【施設・設備の状況など】

居室のフローリング改装については、予定していた件数の施工が完了している。換気扇の交換も行っており、居住空間をより快適にしていけるようにしている。

特別養護老人ホーム 東かなまち桜園

(1)施設利用状況

事業名	介護老人福祉施設	短期入所生活介護
定員	140	20
稼働日数	365	365
1日平均利用者数	129.4	17.2
実稼働率	92.4%	85.9%
(前年度稼働率)	94.4%	78.0%
延利用日数	47,225	6,269
平均介護度	3.8	3.3

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員（常勤換算）

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
施設長	1		1				
介護支援専門員	1		1				
生活相談員	3		3				
介護職員	67	+8	75	介護職員	13.1	-2.2	10.9
看護職員	4		4	看護職員	3.5	-0.5	3.0
機能訓練指導員	1		1	機能訓練指導員	0.6		0.6
歯科衛生士							
管理栄養士	2		2				
事務員	3	+1	4	事務員	0.8		0.8
嘱託医師				嘱託医師	0.2		0.2
合 計	82	+9	91	合 計	18.2	-2.7	15.5

(3)令和7年度の重点項目とその実績

①稼働率

令和7年度の特養の目標は95%としていたが、実績としては92.4%に留まり、目標を大きく下回った。一方で、短期入所は85.9%であり、好調を維持している。

②人材の育成・定着・確保

介護職員の採用・確保については順調に推移している。令和5年度から新規採用者に対する3日間のオリエンテーションを引き続き精力的に実施しており、定着率は前年度に比較し向上している。

③事業継続計画（BCP）

自然災害、感染症に対応した事業継続計画のシミュレーションを適宜実施した。

④生産性の向上

新たな ICT 機器の導入には至っていないが、ノーリフトケア機器を取り入れ、少ない人数で質の良いサービス提供が可能となるよう、生産性の向上を図る取り組みを進めている。

⑤地域との交流、ボランティアの受入れ

施設内の地域交流室を利用した地域包括支援センター主催の勉強会や、認知症高齢者家族会、地域の研修会等が実施されている。

また、大学生（２校２名）の介護等体験、中学生（３校１１名）の職場体験として受け入れた。

（４）年間行事実施実績

実施時期	行事内容
４月	花見 誕生会
５月	菖蒲湯 端午の節句 誕生会
６月	菖蒲見学 バイキング 誕生会
７月	七夕会 バイキング 花火 誕生会
８月	納涼祭 すいか割り 流しそうめん 誕生会
９月	敬老式典 防災訓練 バイキング 誕生会
１０月	バイキング 誕生会
１１月	インフルエンザ予防接種 握り寿司 誕生会
１２月	クリスマス会 冬至（柚子湯） 入居者健診 忘年会 誕生会
１月	新年会（初詣） 誕生会
２月	節分行事 誕生会
３月	ひな祭り行事 防災訓練 誕生会

（５）職員の研修実績

IDO オンラインセミナーによる法定研修について、以下のとおり受講している。

・倫理及び法令遵守	参加 98 名/102 名中
・高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止	98 /103
・基本接遇	103 /105
・事故発生又は再発防止	103 /108
・認知症及び認知症ケア	104 /107
・身体拘束の排除のための取り組み	107 /108
・医療的理解	109 /112
・ハラスメントの理解	106 /113
・感染症・食中毒の予防及び蔓延防止	112 /113

・介護予防及び要介護度進行予防	113 /117
・プライバシーの保護の取り組み	109 /118
・精神的ケアに関する研修	107 /117
・緊急時の対応に関する研修	109 /117
・非常災害対策（BCP）	107 /115
・ターミナルケア	105 /115

（６）施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

区 分	整備内容	金額等
設備整備	スチームコンベクション購入	2,439,800 円

（７）苦情等の申出内容とその結果

申出年月	申出者の種類	申出内容	解決結果
令和 7 年 5 月	入居者ご家族	事故内容の不審点、対応や連絡が遅いと申出	ご家族との面談を設定し、詳細を説明の上、謝罪。

（８）総括

令和 7 年度の決算状況については、資金収支差額として▲1,800 万円強を計上するに至った。その要因の第一として、特養の稼働率低下が顕著であったことがあげられる。

令和 7 年度の特養の稼働率は、前年度より 2 ポイント低い 92.4%に留まり、目標としていた 95%を大きく下回った。これは想定をはるかに超える死亡退居の増加が原因と考えられ、入居のペースが退居のペースに追いつかなかったことに加え、入院者の増加・入院期間の長期化も経営を圧迫するものとなった。

更には、令和 7 年度は介護職員を積極的に採用したことによる人件費の増加に伴う収支状況の悪化も否定できないが、昨今の介護人材確保が困難な状況にある中で、十分な介護職員が確保できたこと自体は当施設にとって喜ばしいことであり、今後、定着に向けてしっかり取り組んでいくこととしている。

一方で、短期入所については好調を維持している。令和 7 年度の稼働率は 85.9%であり、前年度より約 8 ポイント上昇している。リピーターの確保に加え、新規利用者の開拓に積極的に取り組んだ成果が顕れている。

いずれにしても、令和 7 年度の決算については赤字を計上することとなったが、施設としてしっかり受け止め、特養の稼働率の回復・向上に向けて、入居待機者の確保・状況把握、退居後の空室期間の短縮、入居者の体調変化の早期発見・早期対応に全力で傾注する必要がある。

また、職員一人ひとりの入居者に対する適切なサービスの提供をはじめとする様々な取り組みが、施設経営の安定・改善に直結していることをしっかり喚起したい。

御幸保育園

(1)施設利用状況

事業(定員)	本 園 (300)						家庭的保育事業 てんとうむし (5)			小規模保育所 クローバー (10)			合計
対象年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳	0歳	1歳	2歳	
定 員	30	52	53	55	55	55	1	2	2	2	4	4	315
4 月	29	51	53	57	57	57	0	2	1	1	3	3	315
5 月	29	52	53	57	57	57	0	2	1	1	3	3	314
6 月	29	52	53	57	57	57	0	2	1	1	3	3	315
7 月	29	52	53	57	57	57	0	2	1	1	3	3	315
8 月	29	52	53	57	57	56	1	2	1	2	3	3	315
9 月	29	52	53	57	57	57	1	2	1	2	3	3	317
10 月	29	52	53	57	56	56	1	2	1	2	3	3	316
11 月	29	52	53	56	56	56	1	2	1	2	2	3	315
12 月	29	52	53	57	56	56	0	2	1	2	3	3	314
1 月	29	52	53	57	56	57	1	2	1	2	3	3	316
2 月	29	52	53	56	56	57	1	2	2	2	3	3	316
3 月	29	52	53	57	56	57	1	2	2	2	3	3	317
月平均	29	52	53	56.8	56.5	56.7	0.7	2	1.1	1.7	2.9	3	315
利用率	96.6	100	100	103.2	102.7	103	70	100	55.5	85	72.5	75	100

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
園長	1		1	保育士	25		25
副園長	1		1	調理員	5	-1	4
主任保育士	1		1	事務員	1		1
保育士	33		33	その他	6	+1	7
調理員	3		3	看護師	2		2
事務員	1		1				
合 計	40		40	合 計	39	0	39

(3)延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30分延長保育	15	15	16	24	19	30	29	26	22	27	26	36	285
1時間延長保育	58	56	57	60	87	108	72	66	49	60	51	86	810
2時間延長保育	11	16	17	15	12	15	18	14	11	13	14	25	181

(4) 令和7年度の重点項目とその実績

令和7年度は、途中で引越しや病気による退職がありましたが、その都度ハローワークを通じて職員を確保することができ、安定した職員数で園児を見守ることができました。また、養成校との連携や就職フェアへの参加など、積極的な採用活動を行い、良好な関係を継続できるよう努めてきました。

人材育成においては「人づくり」を意識し、法人研修には将来的なリーダー（中核的存在）となる職員を参加させました。参加した職員の意識には変化が見られ、少しずつではありますが職員間の雰囲気にも良い影響が出てきています。また、「職員が主体的に考え、チームで動く」ことを実践するため、園内研修にも力を入れ、担当職員が自ら企画する機会を設けました。自ら企画することで責任感や達成感が生まれ、職員の成長にもつながっています。業務の見直しを進めたことで休憩時間も確保しやすくなり、働きやすい職場環境につながっています。

地域への貢献としては、地域自治会との交流を積極的に行いました。自治会主催の行事への参加や廃品回収への協力に加え、高齢者との触れ合いの場を設けるなど、地域住民との関わりを深める取り組みを継続してきました。これらの活動を通して自治会との良好な関係性が築かれ、地域に根ざした園としての役割を果たすことができています。今後もこうした交流を継続し、地域とともに歩む園づくりを進めていきたいと考えています。

さらに、子育て支援の一環として実施している子育てサークルでは、定期的な開催が定着し、特定の参加者が継続して参加するようになりました。その中から入所につながった家庭もあり、地域の子育て支援と園の利用促進の両面で成果が見られました。サークルでは給食や離乳食の提供も行い、保護者が実際の食事内容を体験できる機会を設けたことで、安心感や信頼の向上にもつながりました。

(5)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4月	親子レクリエーション(5歳.4歳.3歳.2歳) 親子登園(0～2歳) 保育参観(5歳)
5月	東消防署見学(5歳) 保育参加(2歳.3歳)
6月	陶芸教室(5歳) 観劇会(3～5歳) 東区相撲大会(希望者) 個人面談(5歳) 歯科検診(全園児) 保育参加(1歳.4歳)
7月	七夕会 お泊り保育(5歳) 水遊び
8月	夏のあそび(3～5歳)
9月	運動会(3～5歳) 親子運動会ごっこ(2歳児)
10月	テーブルマナー(5歳) 海の中道遠足(4歳) ハロウィンパーティ 芋掘り親子遠足(5歳) 内科検診(全園児) 父母の会合同御幸祭り
11月	発表会お披露目会 生活発表会(2～5歳) 保育参加(3歳.5歳)

12 月	修園記念撮影(全園児) キッザニア(5 歳) クリスマス会
1 月	保育参加(1 歳.4 歳) 保護者研修会
2 月	節分会 交通安全教室(5 歳) 手びねり体験(4 歳) 保育参加(0 歳 2 歳) 在園児健康診断(0～4 歳)
3 月	ひな祭り 立食パーティ(3～5 歳) 第 50 回卒園式(5 歳) 動物園遠足(4 歳) お別れ会(3～5 歳) 入園式 進級式

(6)職員の研修実績

対象	研修内容
全体	・園内研修（月 1 回）・アレルギー及びエピペン実践研修 ・保育実践研修（読み聞かせ・運動）・救急救命研修 ・危機管理研修 ・障がい児、発達支援研修 ・保健衛生、安全対策研修 ・不適切保育についての研修 ・保護者支援、子育て支援研修 ・専門性に基づく担当制保育・環境構成研修
初任者向け	・社会人基礎 ・人権研修 ・キャリアアップ研修
中堅者向け	・視察研修 ・キャリアアップ研修
リーダー	・法人研修 ・視察研修
看護師	・医療的ケア児研修 ・障がい児研修
調理	・食育研修 ・食物アレルギー研修
主任・管理階層向け	・法人研修 ・実務研修 ・障がい児研修 ・保育施設におけるリスクマネジメントとその為のコミュニケーション研修

研修の結果、保育の安全性向上や職員の知識向上が図られた。

(7) 施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

区 分	整備内容	金額等
施設整備	人工芝拡張工事(2F テラス)7 月	1,980,000 円
設備整備	低輻射ガス回転釜 9 月	1,738,000 円

(8) 苦情等の申出内容とその結果

特になし

(9) 総括

総括として、令和 7 年度は職員体制の安定、人材育成の前進、地域との連携強化、そして子育て支援の充実など、園内外の取り組みが着実に実を結んだ一年でした。これらの成果を土台に、引き続き地域とともに歩む園として良い園運営と環境づくりに努めてまいります。

日の里東保育園

(1)施設利用状況

	本 園 (160)						合計
対象年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
定 員	12	28	30	30	30	30	160
4 月	6	28	26	30	30	30	150
5 月	8	28	27	30	30	30	153
6 月	9	28	28	30	30	30	155
7 月	9	28	29	30	30	30	156
8 月	9	28	29	30	30	30	156
9 月	10	28	29	30	30	30	157
10 月	10	28	29	30	30	30	157
11 月	10	28	29	30	30	30	157
12 月	12	28	29	30	30	30	159
1 月	12	28	29	30	29	30	158
2 月	12	28	30	30	29	30	159
3 月	12	28	30	30	29	30	159
月平均	10	28	28	30	29	30	155
利用率	83.3	100	93.3	100	96.6	100	96.8

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
園長	1		1	保育士	14	+1	15
主任保育士	1		1	調理員	2		2
保育士	10		10	保育補助	3		3
栄養士	3	-1	2	清掃員	1		1
事務員	1		1				
看護師	1		1				
合 計	17	-1	16	合 計	20	+1	21

(3)延長保育利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1 時間延長保育	25	33	31	36	21	20	31	23	20	26	28	22	316

(4) 令和7年度の重点項目とその実績

① 人材確保について

宗像市主催の保育フェアに参加し、入園希望者および求職者との接点づくりを行った。その結果、常勤パート職員1名の採用につながり、人材確保の一助となった。今後も同様の機会を活用し、安定した人材確保に努めていきます。

② 園児確保と子育て支援

年度途中での退園により定員には達しなかったものの、園見学の増加や地域開放事業（月1回）の実施を通じ、保育園の周知につなげた。地域開放事業は毎回定員に達するなど、地域の子育て支援として一定の役割を果たしました。

地域開放を5月から2月に月1回行いました。制作や同年代との交流会や育児相談を行いました。保護者同士の交流の場になっていました。毎月キャンセル待ちが出るほど盛況ですぐに定員に達していました。

③ 保育内容の充実

未満児クラスでは発達段階に応じた丁寧な関わりを重視し、以上児クラスでは子どもの主体性を大切にしたい保育環境づくりに取り組んだ。一方で、集団活動における課題も見られたため、今後は職員間での協議を重ね、保育内容や環境の改善を図っていきます。

④ 保育業務の振り返りと職員体制

職員会議やクラス別の意見交換を継続的にを行い、業務の進め方や負担の偏りについて見直しを行った。本部主催のリーダー研修にも参加し、職員の意識向上と職場環境改善につながった。今後も風通しの良い職場づくりを進めていきます。

(5)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4月	お花見
5月	薔薇組保育参観・梅組保育参観・桜組保育参観
6月	向日葵組保育参観・蒲公英組保育参観・桃組保育参観・園児健康診断・歯科健診
7月	七夕・お楽しみ会・水遊び開始
8月	テーブルマナー（薔薇組）
9月	コスモス会交流会
10月	運動会・園児健康診断・観劇会
11月	
12月	クリスマス発表会
1月	トヨタ安全教室・蒲公英組保育参観・向日葵組保育参観
2月	梅組保育参観・桜組保育参観・薔薇組保育参観・保護者研修・日の里東小学校見学・園児健康診断・修了写真撮影・歯科検診
3月	ひな祭り誕生会・入園説明会・第50回卒園式・平等寺保育園交流会

(6)職員の研修実績

- ・児童虐待防止研修
- ・不適切保育研修
- ・食中毒に関する研修
- ・水遊び・熱中症に関する研修
- ・防災研修
- ・人権に関する研修
- ・アレルギー・エピペンに関する研修
- ・SIDS に関する研修
- ・嘔吐物処理に関する研修
- ・職員間コミュニケーションに関する研修
- ・救命救急講習（女性消防団）

研修の結果、保育の安全性の向上や職員の知識向上が図られた。

（７）施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

区 分	整備内容	金額等
施設整備	遮光ネット	1,694,000 円
	スチームコンベクションオープン本体基盤交換	275,088 円
設備整備	ノートパソコン 1 台	217,800 円
	エアコン・換気扇クリーニング	564,300 円

（８）苦情等の申出内容とその結果

特になし

（９）総括

令和 7 年度は、遮光ネットの設置や運動会会場の見直しなど、気候変動を踏まえた安全対策および保育環境の改善に取り組み、園児が安心して過ごせる環境づくりを進めることができました。

保育内容においては、少人数保育を基本とし、子ども一人ひとりの発達や気持ちに寄り添った丁寧な関わりを重視しました。職員が日常の様子を共有しながら声掛けを工夫することで、園児が落ち着いて過ごす姿が多く見られました。一方で、以上児クラスにおける集団活動では課題も確認されたため、今後は職員間での協議を深め、保育内容や環境面の改善を図っていきます。

また、人材確保および園児確保に向けては、保育フェアへの参加や地域との関わりを継続し、保育園の魅力発信と安定した運営体制の構築に努めました。令和 8 年度においても、職員同士のコミュニケーションを大切に、保育の質の向上と働きやすい職場づくりを目指して取り組んでまいります。

五十川保育園

(1)施設利用状況

	本 園 (2 8 9)						分園 (1 9)		小規模保育所 (2 7)			合計
対象年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	0 歳	1 歳	竹下	那珂	中央	
定 員	21	40	48	60	60	60	9	11	9	9	9	336
4 月	20	40	51	60	59	60	7	11	6	6	6	326
5 月	21	40	51	60	59	60	9	11	6	6	6	329
6 月	21	40	51	60	59	60	9	11	6	6	6	329
7 月	21	40	51	60	59	60	9	11	6	6	6	329
8 月	21	40	51	60	60	60	9	11	8	8	8	336
9 月	21	40	51	60	60	60	9	11	8	8	8	336
10 月	21	40	51	60	60	60	9	11	8	8	8	336
11 月	21	40	51	60	60	60	9	11	8	8	8	336
12 月	21	40	51	60	60	60	9	11	8	8	8	336
1 月	21	40	51	60	60	60	9	11	8	8	8	336
2 月	21	40	51	60	60	60	9	11	8	7	8	335
3 月	21	40	51	60	60	60	9	11	8	7	8	335
月平均	20.9	40	51	60	59.7	60	8.8	11	7.2	7.3	7.3	333.2
利用率	99.6	100.0	106.3	100.0	99.4	100.0	98.1	100.0	79.6	81.5	80.6	95.0

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
園長	1		1	保育士	35	+ 1	36
副園長	1		1	支援員	4	+ 1	5
主任保育士	1		1	保育補助	1	+ 2	3
保育士	35		35	看護師	2		2
栄養士	3		3	調理員	4	- 1	3
調理員	1		1	事務員	1		1
事務員	1		1	清掃員	2		2
小規模管理者	2		2				
合 計	45		45	合 計	49	+ 3	52

(3)延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30分延長保育	24	22	29	24	23	16	21	26	19	13	23	23	263
1時間延長保育	51	46	44	56	26	47	60	42	54	53	39	55	573
2時間延長保育	0	1	0	0	3	1	2	1	2	1	2	2	15

(4) 令和7年度の重点項目とその実績

①保育内容の改善実施

- ・こどもの人権を大切にし、一人ひとりの人格を尊重した保育を心がけました。行事やカリキュラムも子どもが興味を持って楽しめる内容で、園児が満足できる保育になりました。

②人材の確保と定着への対策

- ・令和7年度は年度途中で退職した職員が5名いました。いずれも体調不良・転居などで致し方ない退職理由でした。令和7年度末の退職者は10名が退職しましたが、結婚転居や配偶者転勤・転職などの様々な理由でした。今後も職員の定着を優先に、仕事内容の改善や頻繁にコミュニケーションをとるなどして改善に努めます。

③園内の環境整備

- ・整理整頓を徹底し、気持ち良い環境を整えました。園内の配管や破損箇所などは、積極的に修理を行いました。また、「性被害防止対策に係る福岡市保育所等の設備導入支援事業費補助金」を利用し、防犯カメラを増設し園児の環境に死角が無いように整備しました。分園・小規模には同様の補助金を利用してパーテーションを購入しました。

④衛生管理を徹底

- ・園内で感染症が流行しないよう、日常の清掃・消毒等を徹底しました。その結果、令和7年度は大規模な感染症の発生はありませんでした。また、感染者が確認された際には、消毒液の適正濃度を確保したうえで消毒回数を増やすなど、状況に応じた対応を行い、拡大防止に努めました。

⑤防災の対策

- ・災害時のマニュアルに沿った行動がとれる様に、避難訓練などを行いました。また、災害時に必要な非常用発電機や非常食などの備蓄品を整えました。

(5)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4月	入園式、ゴジュウジャー来園、園庭開放日、保健所来園、つぼみサークル、歓迎遠足（ららぽーと4階グラウンド）、誕生会・身体測定・避難訓練・危機管理研修、
5月	園庭開放日、以上児参観日、つぼみサークル、誕生会・身体測定、動植物園遠足、避難訓練、劇団すぎのこ観劇会
6月	未満児参観日、食育（梅ジュース作り）、園庭開放日、サポート巡回訪問、野球教室・食育（クイズ大会）、つぼみサークル、芋の苗植え誕生会・身体測定・セタリハーサル、キッズニア・避難訓練
7月	歯科検診、ラキュー博士来園、山笠リハーサル、夏祭り（以上児）・プール開き、つ

	ぼみサークル、誕生会・身体測定・子ども専門学校のバスツアー来園、プール写真撮影、藍染め体験・視察研修実施、避難訓練
8 月	お泊り保育（年長）、交通安全教室、お買い物ごっこ、誕生会・身体測定、リズムジャンプ講習会、食育の日（玉蜀黍の皮むき）
9 月	音楽教室、ウコン染め体験、誕生会・身体測定・劇団バク「田舎のねずみ、都会のねずみ」、避難訓練・合同保育（分園・キッズルーム）、第 48 回運動会、食育の日
10 月	芋堀遠足（4 歳・5 歳）、制作展（テーマ 不思議の国のアリス）、制作展②・つぼみサークル、芋堀遠足予備日誕生会・身体測定・視察研修、避難訓練
11 月	大宰府天満宮参拝（5 歳）、つぼみサークル、音楽研修、食育の日、発表会リハーサル、クリスマス生活発表会（博多市民センター）、誕生会・身体測定、避難訓練・法人園長会、
12 月	つぼみサークル、ゆず湯体験、避難訓練、誕生会・身体測定・食育の日
1 月	鏡開き、食育の日、誕生会・身体測定、避難訓練、つぼみサークル、
2 月	たんぽぽ音楽発表会（福岡市民ホール）、豆まき、写真撮影、たんぽぽ音楽研究会 50 周年記念式典、園内マラソン大会・縄跳び大会・保護者研修会、誕生会・身体測定、食育の日、未満児保育参観、避難訓練
3 月	雛祭り・誕生会、お別れ交流会、身体測定、園外保育（柳川）、卒園式、つぼみサークル、避難訓練、入園式

（6）職員の研修実績

- ・虐待防止研修・不適切保育対応研修・人権研修・さぼーと保育研修
- ・危機管理研修（窒息・午睡の注意・プール、水遊び・嘔吐処理）
- ・食物アレルギー及びエピペン実践研修
- ・救急救命研修（AED）・新任職員研修
- ・キャリアアップ研修（マネジメント、食物アレルギー、乳児保育、保健衛生、子育て支援、障害児研修、保育実践）

※研修の結果、保育の安全性向上や職員の知識向上が図られた。

（7）施設及び設備の整備実績

区 分	整備内容	金額等
施設整備	配管工事	297,000 円
	分園 バッテリー・照明器具交換	319,000 円
	トイレフラッシュバブル交換	206,536 円
	冷却水ホース交換	140,800 円
	ウッドデッキ、クローゼット、換気扇の修理	276,210 円
設備整備	防犯カメラ増設	367,400 円
	セキュリティ UTM 5 年バンドル	412,500 円
	給食運搬車購入	2,164,110 円

(8)苦情等の申出内容とその結果

申出年月	申出者の種類	申出内容	解決結果
R7年4月25日	園児の保護者	園児の痣について、事実確認し原因を調べて欲しい。	数度の話し合いの後、和解に至った。

(9)総括

・令和7年度は、大きな事故も無く、子ども達が安心して過ごせる環境の中で一年を終える事が出来ました。苦情が1件ありましたが、真摯に受け止め、丁寧に対応することで解決に至りました。

園児募集においては多くのご家庭より入園のご希望をいただき、ほぼ定員を満たす状況で推移しました。一方で年度途中および年度末にかけて退職者が複数名発生しましたが、職員同士の支え合いや保護者の皆様のご理解とご協力により、保育体制を維持しながら補充も進める事が出来ました。職員規模が大きい中で多くの退職者の発生は園運営に影響を及ぼす要因でもあるため、人材の定着や働きやすい環境づくりが重要な課題であると捉えています。

令和7年度は法人全体の保育施設でリーダー研修を行い、6名が参加しました。それぞれが自分の課題に取り組み、リーダーとしての意識向上が見られました。

今後も、一人ひとりの子どもと保護者に寄り添いながら、より信頼される園づくりを目指して安定した園運営に努めてまいります。

香住ヶ丘保育園

(1)施設利用状況

	本 園 (3 0 0)						松香台分園		合計
対象年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	0 歳	1 歳	
定 員	20	40	54	62	62	62	12	12	324
4 月	9	35	60	59	61	60	0	6	290
5 月	12	35	60	59	61	60	0	6	293
6 月	12	35	60	59	61	60	0	8	295
7 月	15	35	60	59	61	60	2	9	301
8 月	15	35	60	59	61	60	3	10	303
9 月	15	35	60	59	61	60	3	10	303
10 月	15	35	60	59	61	60	3	10	303
11 月	15	35	60	59	61	60	3	10	303
12 月	15	35	60	60	61	60	3	10	304
1 月	21	35	60	60	61	60	3	10	310
2 月	21	37	60	60	61	60	3	10	312
3 月	21	37	60	60	61	60	3	10	312
月平均	15.5	35.3	60	59.3	61	60	2.2	9.08	302.4
利用率	77.5	88.3	111	95.6	98.4	96.7	18.3	75.7	93.3

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
園長	1		1	保育士	23		23
副園長	2		2	調理員	3		3
主任保育士	1		1	事務員	0		0
保育士	24	+ 3	27	その他	4	+ 1	5
調理員	4	+ 1	5				
事務員	1		1				
その他	0		0				
合計	33	+ 4	37	合 計	30	+ 1	31

(3)延長保育利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1 時間延長保育	14	15	15	15	15	15	13	12	11	12	12	12	161
2 時間延長保育	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	33

(4) 令和7年度の重点項目とその実績

重点項目として【職員と園児確保について】をあげていました。令和7年4月入職者は正規保育士職員4名（新卒2名、中途採用2名）、非常勤保育士職員4名、正規栄養士職員1名（新卒1名）合わせて9名の入職があり全て自己応募でした。5月以降は正規保育士4名、非常勤保育士2名、正規栄養士1名、非常勤調理員1名の合計8名採用でした。年間総合計17名ですが、年度途中ではなく4月年度初めの時点で保育士を採用できていれば定員数に近い園児数でスタートできたと考えています。

インスタグラムといった情報源もちろん求職者には人気はありますが、求職者の中には保育園のホームページを見て応募された方もいてホームページも重要な情報源になっていると感じました。

(5)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4月	歓迎遠足避難訓練
5月	動物園遠足（5歳）・以上児保育参観・避難訓練
6月	未満児保育参観・相撲大会（希望者）・避難訓練
7月	七夕の集い・音楽お披露目会（5歳）・夏祭り・プール開き・避難訓練
8月	お泊り保育（5歳）・プール納会・避難訓練
9月	スポーツフェスティバル・東香園訪問（5歳）・交通安全教室
10月	芋ほり遠足（5歳）・合唱コラボ（5歳）
11月	マリンワールド（4歳）・音楽お披露目会（5歳）
12月	観劇会・クリスマス会
1月	JRイベント（5歳）・卒園バスハイク（5歳）
2月	保育参観（全園児）・保護者研修
3月	雛祭りの集い・お別れ会・卒園式・入園式

* 毎月、避難訓練・身体測定

(6)職員の研修実績

- ・新規採用職員人権保育研修 ・主任保育士専門研修会 ・主任保育士研修会
- ・福岡市保育実習共同研修 ・福岡市私立保育士会研修 ・保育研修会Ⅰ
- ・乳幼児食研修会 ・新規採用職員人権研修 ・園長人権保育研修会
- ・子どもの発達に合わせた運動遊び ・東区人権保育 ・危険予知研修
- ・会計担当者研修 ・利用者、家族とのコミュニケーション力向上研修
- ・食物アレルギー対応研修会 ・危機管理研修会 ・不適切保育研修会
- ・子どもの食行動、摂食技能の発達研修
- ・東部療育センター研修 ・主任、一般保育士研修 ・主任保育士人権保育研修
- ・福岡市教育委員会研修 ・特別保育研修 ・救命救急講習会

(7) 施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

区 分	整備内容	金額等
施設整備	園庭土地取得	107,028,788 円
	園庭拡張整備	8,800,000 円
設備整備	エアコン圧縮機等交換（3 機）	2,563,000 円
	高圧ケーブル取替	1,925,000 円
	防犯カメラ（リース）	4,290,000 円
	厨房業務用冷凍庫入替	660,000 円
	分園看板設置	306,795 円

(8) 苦情等の申出内容とその結果

申出年月	申出者の種類	申出内容	解決結果
令和 7 年 8 月	保護者	園児受入れ開始時刻、駐車場の開場時間の確認	説明し納得された
令和 7 年 9 月	近隣住人	隣接する集合住宅住人より。園庭遊具の位置の変更依頼。遊具から見られているように感じる為。	即日、遊具の位置を変更した
令和 8 年 2 月	保護者	分園、非正規職員の威圧的な注意の仕方	職員への指導を行った

(9) 総括

姉妹園で学びあう視察研修も令和 7 年度で 2 年目となりました。ある時の視察では参加する職員の対象を決めその立場から意見を出し合うようにしました。クラスでのお勧めの取り組みや進め方に苦労したこと等を姉妹園の職員で共有することで共感できる部分や学びがありました。また、給食に携わっている職員同士の会議でも各園での給食の提供方法や食育の取り組みなども話し合うことができ参考になりました。

不適切保育防止の為の取り組みとしては、保育士はセルフチェックリストを用い毎日の保育を振り返り、気になる点はより良い関わりへのポイントを知り防止に努めました。これにより項目別に可視化され、本人が自身の保育に対して理解しやすい形をとりました。この資料は次年度の職員との面談に活用したいと思います。

香住ヶ丘保育園は保育士確保から本園、分園ともに定員には達することはできませんでしたが、園児は大きなケガや事故にあうこともなく一年間を過ごすことができ、保護者の皆様とも一緒に園児の成長を見守り喜ぶことができました。

上記の取り組みを生かし、保育の質の向上につなげ、入所率の向上につなげていきます。

平等寺保育園

(1)施設利用状況

	本 園 (2 0 0)						合計
対象年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
定 員	17	29	30	39	41	44	200
4 月	5	30	30	30	30	30	155
5 月	5	30	29	30	31	30	155
6 月	8	30	29	30	31	30	158
7 月	9	30	29	30	31	30	159
8 月	10	30	28	30	31	30	159
9 月	12	30	28	30	30	29	159
10 月	14	30	28	31	30	29	162
11 月	15	30	28	31	30	29	163
12 月	15	29	28	29	30	29	160
1 月	16	30	28	29	30	29	162
2 月	16	30	28	29	30	29	162
3 月	16	30	28	29	30	29	162
月平均	12	30	29	30	30	29	160
利用率	70.5	103.4	96.6	76.9	73.1	65.9	80

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
園長	1		1	保育士	22		22
副園長	0		0	調理員	2		2
主任保育士	1		1	事務員	0		0
保育士	12		12	その他	1	+ 1	2
調理員	3		3				
事務員	1		1				
その他							
合 計	18		18	合 計	25	+1	26

(3)延長保育利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1 時間延長保育	15	17	20	21	15	20	21	18	15	15	16	16	209

(4) 令和7年度の重点項目とその実績

(園児の確保対策) 園見学者の3分の1が入所につながりました。見学者の中には、園開放日にも参加し保育体験をすることで、園の雰囲気を実感していただけたことが要因と考えています。

(人材の確保と定着への対策) 職員との面談を年3回実施したことにより、現場の課題が見えやすくなり、個々の状況に応じた対応策を講じることができました。

(地域の子育て支援) 一時預かり事業では、延べ38人の受け入れを行い、在園児と一緒に活動するなかで安心して過ごす様子が見られました。保護者からも「安心して預けられる」という声もあり保護者の心理的負担の軽減や支援につながりました。

(業務の効率化) 宗像市の支援事業「保育現場における職場環境の改善」を活用し、社会保険労務士による職場環境の見直しを実施しました。課題の可視化により職員の意識改革が促され、業務負担軽減につながったと考えています。

(不適切保育の防止) 不適切保育防止のため、年2回のチェックリストを活用した自己点検を実施し、保育内容の振り返りを行いました。また、宗像市主催の人権・虐待防止の研修およびオンライン研修に参加し、得られた知見を職員間で共有することで、不適切保育防止に向けた意識向上を図りました。

(5)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4月	保育の日・親子レクレーション・誕生会
5月	内科検診
6月	夏祭り・歯科検診・ガタリンピック・田植え・保育参観・個人面談(年長)
7月	七夕の集い・デイキャンプ・保育参観
8月	保育の日・個人面談(年中)・陶芸教室
9月	内科検診
10月	親子ふれあいフェスタ
11月	個人面談(1歳児)
12月	生活発表会・クリスマス会・個人面談(年少)
1月	歯科検診・個人面談(年長)交通安全教室・保育参観
2月	節分の集い・修園写真撮影・保育参観・保護者研修会・新入园児説明会
3月	雛祭り・お別れ遠足・お別れ会・卒園式・姉妹園交流会

(6)職員の研修実績

- ・虐待防止研修
- ・感染症対策研修
- ・食物アレルギー研修
- ・救急救命研修
- ・保護者支援・子育て支援研修
- ・人権・同和研修
- ・衛生管理研修
- ・障がい児保育研修
- ・食育研修
- ・乳幼児研修

研修の結果、保育の安全性向上や職員の知識向上が図られた。

(7) 施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

区 分	整備内容	金額等
施設整備	砂留ブロック設置	594,000 円
設備整備	ノートパソコン	258,500 円
	栄養管理システムソフトウェア	537,500 円

(8) 苦情等の申出内容とその結果

特になし

(9) 総括

令和7年度は155名でスタートしました。

今年度も「子ども主体の保育」を軸に、保育士一人ひとりが、子どもの人権を尊重した丁寧な保育を心がけ、日々の保育実践や保護者支援に取り組んできました。生活や遊びの環境を整え、意欲的に取り組めるような声掛けや働きかけを行うことで、大きな事故苦情もなく安全で安定した保育環境を維持することが出来ました。季節行事や日常の遊びを通して、子ども達の成長も多くみられました。また保護者との連携についても、面談や行事を通して園での様子を伝え、育ちを共有することができました。

昨年度から取り組んでいる職員の負担軽減と業務効率化に向けて、記録類の整備やノンコンタクトタイムを進めていますが、定着に課題が残っている状況です。今後も勤務環境の改善につなげて、職員一人ひとりがやりがいと向上心をもって働くことができる職場づくりを目指します。

今後は、地域の方に保育園を知っていただき、子育て世代に選ばれる保育園となるように、職員研修の充実や業務の見直しを図り、より質の高い保育の提供と働きやすい環境づくりをすすめていきます。

東かなまち保育園

(1)施設利用状況

	本 園 (130)						合計
対象年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
定 員	12	20	24	24	25	25	130
4 月	12	20	24	23	25	25	129
5 月	12	20	24	23	25	25	129
6 月	12	20	24	24	25	25	130
7 月	12	20	24	24	25	25	130
8 月	12	20	24	24	25	25	130
9 月	12	20	24	24	25	25	130
10 月	12	20	24	24	25	25	130
11 月	12	20	24	24	25	25	130
12 月	12	20	24	24	25	25	130
1 月	12	20	24	24	25	25	130
2 月	12	19	24	24	25	25	129
3 月	12	19	24	24	25	25	129
月平均	12	20	24	24	25	25	130
利用率	100	99.1	100	99.3	100	100	100

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
園長	1		1	保育士	13	+1	14
副園長	0		0	調理員	1	+1	2
主任保育士	1		1	事務員	0		0
保育士	16	+1	17	その他	2	+3	5
調理員	3		3				
事務員	1		1				
その他	1		1				
合 計	23	+1	24	合 計	16	+5	21

(3)延長保育利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
30 分延長保育	4	7	14	10	8	12	12	7	17	7	8	9	115
1 時間延長保育	8	8	10	9	9	13	9	10	13	9	8	16	122

(4) 令和7年度の重点項目とその実績

①園児の確保対策

- ・今年度は4月より定員の空きが3歳児の1名のみであり、年間を通して定員に近い数字で推移しました。「子育てひろば」を前年同様に週3回開催することで、通常保育だけではなく、一時保育の園児確保にも繋がりました。
- ・桜園との交流は、感染の流行が重なり以前のような活発な交流は困難でしたが、絵のプレゼントをする機会があり今後の活動のきっかけとなる簡単な交流を持つことができました。
- ・1年間、大きな怪我や事故もなく、安全に園外活動や様々な体験活動を実施できました。

②人材の確保と定着への対策

- ・職員配置を補助金申請に必要な人数に戻し、職員の負担軽減に向けた体制を整えました。
- ・クラス内での保育の振り返りと実践を意識的に繰り返し行うことで、子どもへの理解を深め、職員間の意識の統一を図りました。

③地域の子育て支援

- ・「子育てひろば」では、年間824名の受け入れを行いました。
- ・他園との直接的な交流は、日程の調整が合わず毎回の参加が困難でしたが、活動報告などを通じて繋がりをもち、情報交換を行うことで活動に活かしました。

④監査指摘事項の改善

- ・利用者等外給食費について、収入と支出が同額になるよう見直しを求められました。これに対し、まずは正しい職員給食費の算出を行い、職員の給食費単価を改定することで対応します。
- ・土地、建物賃借料については本部と相談し、対応を検討中です。
- ・口頭による指導及び助言を受けた事項に関しては、すべて改善済みです。

⑤不適切保育の防止策

- ・全国福祉会の人権擁護チェックリストおよび葛飾区より配布されたチェックリストを活用し、定期的な振り返りとクラスや全体での話し合いを継続して行いました。
- ・子どもの人権に配慮した適切な保育に努めるよう、保育改善委員会での資料やワークブック、その他の資料を用いて研修を実施しました。

⑥修繕等工事

- ・保育室等の照明切り替え（蛍光灯からLED照明へ）
- ・保育室の防犯カメラ設置

(5)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4月	新入園児歓迎会
5月	園児健康診断 プラネタリウム見学
6月	園児歯科検診 お泊り保育 保育参観 個人面談 水遊び
7月	水遊び七夕会
8月	水遊び
9月	園児引渡し訓練

10 月	運動会
11 月	園児健康診断・園児歯科検診 保育参観 バスハイク(5 歳児)
12 月	生活発表会 クリスマスコンサート クリスマスバイキング 職員健康診断
1 月	シルエット劇場 着物体験撮影会
2 月	節分 お別れ遠足
3 月	ひな祭り 新規入園説明会 お別れバイキング 卒園式

(6)職員の研修実績

- ・虐待防止研修 ・パワハラ研修 ・不適切保育対応研修
- ・感染症対策、嘔吐処理研修 ・食物アレルギー対策及びエピソード研修
- ・救急救命研修 ・保育所保育指針研修 ・子育て支援研修
- ・新任職員研修 ・危機管理研修
- ・キャリアアップ研修

研修の結果、保育の安全性向上や職員の知識向上が図られた。

(7)施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

区 分	整備内容	金額等
設備整備	保育室等の照明切り替え（蛍光灯→LED 照明）	2,418,326 円
	保育室の防犯カメラの設置	902,000 円

(8)苦情等の申出内容とその結果

特になし

(9)総括

今年度はコロナ禍以降で初めて、0 歳児が定員を満たしての年度開始となりました。年間の平均在籍数も 130 名と高水準で推移し、129 名を下回ることはありませんでした。一時保育については、職員が通常保育を優先せざるを得ない状況があり利用制限を継続したため、利用者数は伸び悩みました。一方で、無償化に伴い問い合わせや登録数は増加しており、利便性向上のため予約方法の見直しを実施しました。地域交流事業「子育てひろば」では、保護者同士の交流が活発化しており、当園が入園前の体験の場として定着しつつあります。今後も「園の窓口」としての意識を高め、地域に開かれた運営を継続してまいります。

採用関係は職員の離職が少なく、定着率の高まりを実感する 1 年となりました。採用環境は依然として厳しいものの、非正規職員の正規登用などにより、安定した組織づくりが進んでいると感じます。法人研修を通じた意識改革と風通しの良い職場環境への改善も着実に進みました。

保育面では、職員の探求心に個人差は見られますが、質の向上に向けた真摯な姿勢が伺えます。新入職員も含め、一人ひとりの子どもへの人権擁護の意識を持続するため不適切保育チェックシートや自己評価表での振り返りを継続し、安全・安心な保育を行っていくと共に、職員の心身の健康のための情報収集と環境構成の整備に注力してまいります。

大塚第一保育園

(1)施設利用状況

	本 園 (1 3 0)						合計
対象年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
定 員	9	20	23	26	26	26	130
4 月	4	21	20	23	23	22	113
5 月	4	21	20	23	23	22	113
6 月	4	21	20	23	23	22	113
7 月	8	21	21	23	23	23	119
8 月	12	21	21	22	23	23	122
9 月	12	21	21	23	23	23	123
10 月	12	21	21	23	23	23	123
11 月	12	21	20	22	23	23	121
12 月	12	21	20	22	22	22	119
1 月	12	21	20	22	22	22	119
2 月	12	22	21	22	22	22	121
3 月	12	22	21	22	22	22	121
月平均	9.6	21	20	22	22	22	119
利用率	100	106	89.1	86.5	87.1	86.2	91.5

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
園長	1		1	保育士	10	+1	11
副園長				調理員	2	+1	3
主任保育士	1		1	事務員			
保育士	11	-1	10	その他	3		3
調理員	2		2	看護師	1		1
事務員	1		1	派遣保育士	2	-2	0
その他							
合 計	16	-1	15	合 計	18	0	18

(3)延長保育利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延長保育 (1 時間)	49	32	32	34	30	37	31	37	29	37	34	48	430
延長保育 (2 時間)	3	5	4	7	3	7	8	8	5	2	6	8	66

(4) 令和7年度の重点項目とその実績

1. 保育指針を理解し、応答保育・担当制保育を学ぶために姉妹園の視察を含めた研修を取り入れたことで、職員一人ひとりが、子どもたちへの関わり方を意識して保育にあたることができました。
2. 安心して過ごせる場所づくり・保護者に寄り添う環境づくりに力を入れ、保護者が安心して預けられる保育園づくりに職員一丸となって取り組みました。また、子どもたちの気持ちを受け止め、認めることで、子どもたちも言葉にして伝えることが増えた1年でした。
3. 職員の1時間の休憩時間を確保できるよう、工夫しました。その結果、1時間の休憩でリセットして午後の保育に向き合うことができました。職員間で感謝の言葉を伝え合い、働きやすい環境づくりに努めましたが、気持ちのすれ違いから『認められていない』と感じる職員もあり、コミュニケーションの在り方が課題として明確になりました。
4. 子ども専門学校の学生に、昨年に引き続き水遊びなどの行事に参加して、保育の楽しさを体験してもらいました。前年度に続いて参加してくれた学生もいて、交流を深めることができます。
また、九大留学生との交流会を年に3回行い、多国籍文化に触れることができました。

(5)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4月	園外保育（5歳児・いちご狩り）
5月	保育参加（4.5歳児）
6月	親子フェスタ（福岡市西体育館）・保育参加（2.3歳児）
7月	水遊び・保育参加（0.1歳児）
8月	水遊び
9月	テーブルマナー（5歳児）・秋祭り（3.4.5歳児）
10月	園外保育（全園児・動物園）・園外保育（年長児・芋ほり遠足）・こども園視察
11月	保育参加（0.1歳児）
12月	集合監査・発表会
1月	保育参加（2歳児）
2月	保育参加（3～5歳児お買い物ごっこ）・保護者研修会・園外保育（5歳児・キッズニア）
3月	ひな祭り会・お別れパーティー（全園児）・卒園式（5歳児・保護者）

(6)職員の研修実績

対 象	研 修 実 績
全体	・園内研修 ・救急救命（AED）研修 ・人権研修 ・アレルギー研修 ・あそびの研修（運動、読み聞かせ） ・担当制保育研修 ・不適切保育について
初任者向け	・初任者研修 ・社会人基礎研修 ・人権研修 ・乳児保育研修 ・キャリアアップ研修
中堅向け	・安田式運動遊び研修 ・キャリアアップ研修
リーダー	・法人研修 ・姉妹園視察研修 ・危機管理研修
調理	・食品衛生研修 ・姉妹園研修会 ・食物アレルギー研修
主任・管理職	・法人研修 ・さぼーと保育研修 ・危機管理研修 ・保幼小連絡会 ・マネジメント研修 ・人権研修 ・視察研修

(7) 施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

特になし。

(8) 苦情等の申出内容とその結果

特になし。

(9) 総括

今年度は、応答保育や担当制保育の共通理解を深める研修を重ね、子ども一人ひとりに寄り添う保育の向上に取り組みました。0～2 歳児では安心して過ごせる環境が整い、3～5 歳児では生活習慣の自立や友達との関わりが広がるなど、子どもの育ちに確かな変化が見られました。

一方で、職員間の気持ちの受け止め方にすれ違いが生じ、コミュニケーションの在り方が大きな課題となりました。子どもにとって、より良い保育を実践するためには、職員同士が安心して意見を交わせる関係作りが不可欠であるということを改めて実感した一年でもありました。

来年度は、対話の機会を意図的に増やし、互いの思いや考えを共有できる風通しの良い職場づくりを進めていきます。職員一人一人が目標を持ち、同じ目標を掲げるチームとして支え合いながら、子どもと保護者にとって安心できる園づくりを継続してまいります。

大塚第二保育園

(1)施設利用状況

	本 園 (130)						合計
対象年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	
定 員	9	23	23	26	26	26	130
4 月	5	21	19	23	21	18	107
5 月	6	21	19	23	22	17	108
6 月	7	21	20	23	22	17	110
7 月	7	25	20	24	22	17	115
8 月	10	25	19	24	22	16	116
9 月	10	25	19	24	22	16	116
10 月	10	25	19	23	22	16	115
11 月	10	25	19	22	22	16	114
12 月	10	23	19	22	21	16	111
1 月	12	23	19	22	21	16	113
2 月	12	23	20	22	21	16	114
3 月	12	23	20	22	21	16	114
月平均	9.0	23.3	19.6	23.1	21.9	17.2	114.1
利用率	100	101.3	85.2	88.8	84.2	66.1	87.7

(2)職員体制

①正職員

②非常勤職員

職 種	当初配置	増 減	年度末配置	職 種	当初配置	増 減	年度末配置
園長	1		1	保育士	11	+1	12
副園長	0		0	調理員	2	-1	1
主任保育士	1		1	事務員	0		0
保育士	11		11	その他	3		3
調理員	1	+1	2				
事務員	1		1				
その他	0		0				
合 計	15	+1	16	合 計	16	0	16

(3)延長保育利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
30 分延長保育	5	11	6	3	5	5	2	7	2	4	5	6	61
1 時間延長保育	6	5	9	10	13	16	8	7	6	6	8	13	107
2 時間延長保育	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	5

(4) 令和7年度の重点項目とその実績

① 一人ひとりの成長に寄り添った保育の実践

一人ひとりの成長に寄り添った保育を実践するためには全職員が共通理解をもって組織的に対応することが不可欠です。正しい知識の習得と、職員間での対話、協議を重ねることに注力しました。その結果、大きなトラブルや苦情等もなく一年を終えることができました。

② 園児数減に伴う経営の効率化

産休・育休で休業する保育士が3名いたので、少ない職員で効率的に対応する方策を検討し対処しました。また、紹介業者等に頼ることなく職員の紹介により保育士を確保できたことは、経費削減に大きく貢献できました。

③ 保育士スキル向上のため研修機会の充実

保育スキル向上のためには、最新の知見をアップデートすることが必要です。非常勤職員にも、この機会を設けることで園全体のスキル向上に努めました。特に、姉妹園担当制保育見学によって刺激を受けた職員が多かったことは大きな成果でした。

(5)年間行事実施実績

実施時期	行事内容
4月	イチゴ狩り（5歳）
5月	保育参加（4・5歳）
6月	保育参加（2・3歳） 親子フェスタ（2～5歳児）
7月	保育参加（0・1歳） 七夕の集い
8月	水遊び
9月	テーブルマナー（5歳児）
10月	芋掘り遠足（5歳児） 園児健康診断
11月	保育参加（0歳）
12月	保育参加（1歳）発表会（2・3・4・5歳） クリスマス会
1月	保育参加（2歳） 豆まき
2月	保育参観（4・5歳）・保護者研修会 在園児健康診断 新入園児面談
3月	保育参加（0.2歳） キッズニア（5歳児）

(6)職員の研修実績

- ・アンガーマネジメント研修：参加1名
- ・さばーと保育研修：参加1名
- ・摂食技能向上研修：参加1名
- ・食育研修：参加1名
- ・子どもの発達に合わせた運動研修：参加1名
- ・食品衛生管理研修：参加2名
- ・人権研修：参加2名
- ・防犯研修：参加15名

・保育研修：参加 12 名

研修の結果、保育の安全性向上や職員の知識向上が図られた。

(7) 施設及び設備の整備実績

施設整備・・・創設・増築・改築・拡張・修繕（比較的大規模なもの）

設備整備・・・器具及び備品・非常通報装置・大型遊具 他

特になし

(8) 苦情等の申出内容とその結果

特になし

(9) 総括

今年度は、0 歳児 5 名、1 歳児 21 名の園児数でスタートしました。また、広域利用により糸島市から 4 名の園児を受け入れました。

2 か月に 1 回、イオン伊都店で開催される育児相談会に参加し、育児休業中の方や地域の方に当園を広く知っていただけるよう努めました。令和 8 年度も、引き続きこの取り組みを継続していきたいと考えています。

予定していた行事については、保護者の皆様のご理解とご協力を得て、福岡市西体育館にて 2～5 歳児の親子と一緒に身体を動かして楽しむ「親子フェスタ」を開催することができました。体育館にはクーラーが完備されており、暑さを気にせず活動できたため、保護者からも好評をいただきました。来年度も引き続き、同会場での開催を予定しています。

発表会については、0・1 歳児はビデオ撮影による販売形式とし、2～5 歳児は入れ替え制で園内にて実施しました。卒園式では、無事に 16 名の園児を送り出すことができました。

保育園を取り巻く外部環境は数年前とは大きく変わりました。少子化が著しく進んだことにより今では保護者が自由にいつでも園を選ぶことが出来るようになりました。その為、より近隣で評判のよい幼稚園や保育園に転園することも容易となりました。今年度は転居や個人的な都合による転園(10%弱)が多く、新規園児の途中入園もありましたが、転園者も多かったため園児数を大きく伸ばすことは出来ませんでした。

今後も、この入所率に一喜一憂せず、目の前にいる園児一人一人を大切に、子ども主体の保育を丁寧に行っていき、園の評価、評判を着実に上げていきたいと思います。